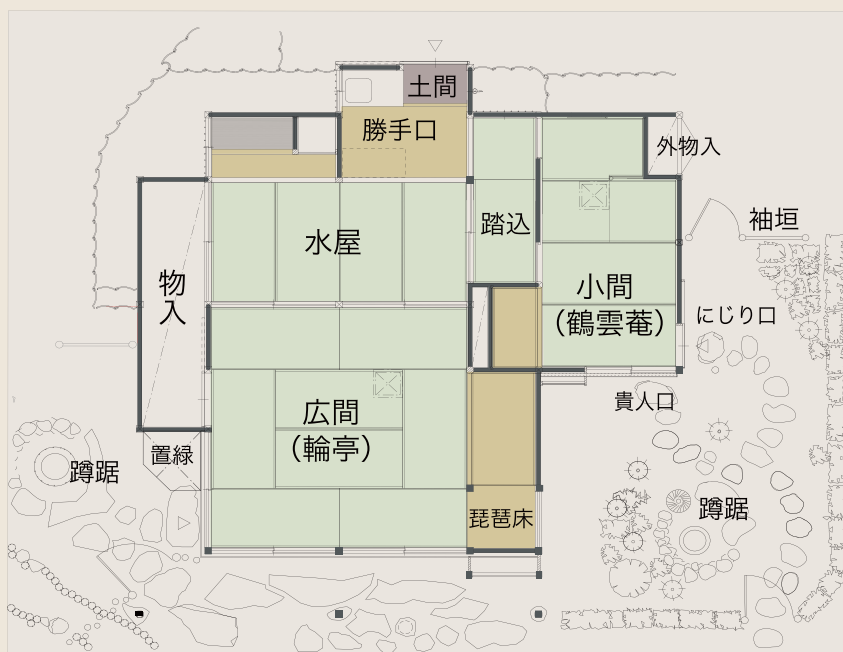


# 茶室



都筑民家園に移築された旧長沢家住宅には、江戸時代の職人の手のあとが残り、長きにわたり多くの人が行き来した空気が流れています。その隣に茶室を建てるにあたり、主屋の民家と違和感がなく、この公園にふさわしい建物になるよう施工しました。小間の壁止め登り梁は、主屋同様「ちょうな」という古い手道具ではつり、仕上げています。柱・梁などあらわしの木材は、古色仕上げにすることにより、侘びて落ち着いた雰囲気としました。国内各地から取り寄せた、銘木一本一本が見どころです。平成の職人の手のあとも、これから続く歴史の中で、たくさんの人にいつくしんでいただきたいと望みます。

大工棟梁 松本高広



## 建築概要

- 延べ面積:45.06㎡
- 主な仕上材:床柱-赤松、床框-栗、落掛-杉 小間中柱-こぶし